

CURRICULUM 2024

2024年度カリキュラム

環境情報学専攻

赤=必修科目 緑=選択必修科目 黒=選択科目
 ■=中学校・高等学校教諭一種免許状(理科)資格取得に関わる科目 ●=二級建築士・木造建築士受験資格取得に必要な選択必修科目
 ●=2級ビオトープ計画管理士資格試験一部免除に必要な科目 ◆=2級ビオトープ施工管理士資格試験一部免除に必要な科目

	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門教育科目	必修科目				
	環境情報学基礎演習 環境学入門 エコライフ論	プログラミングの基礎 プログラミング基礎演習	環境情報処理論及び実習 I・II 社会情報学ゼミナール I・II 建築・都市ゼミナール I・II ●	社会情報学ゼミナール III・IV 卒業研究	
	選択科目				
	人間と環境	生命のしくみ ■ 地球環境論 ■	住居環境論 ● 宇宙地球科学 ■	環境科学 ■ 生命科学と暮らし ■ 食と環境 環境生理学 ■	環境演習 I 環境演習 II ● 特殊講義 II(くらしと環境) ● 健康と環境
	住居のデザイン	住居学 ●	設計製図の基礎 ● 住居デザイン演習 I ● 住居デザイン ●	力とかたち I ■ ● 力とかたち II ● 建築と都市の歴史 ● 建築と社会 ●	住居デザイン演習 II ● 建築法規と都市デザイン ● ● 建築インテリア材料 ●
	持続的なくらしと社会			環境マネジメント論 特殊講義 I(社会と環境)	
			環境と経済 I 環境と法律 I ● ◆	環境と経営	環境と経済 II 環境と法律 II ● ◆ 環境とアグリビジネス 環境とマーケティング
	環境との共生	環境デザイン論 ● ● ◆ 自然科学入門 ■	環境保護論 ● ◆ 環境アセスメント論 ●	エコロジー ● ● ◆ 環境生態デザイン ● ◆ 環境とツーリズム ビオトープ論 ● ● ◆ 建築デザイン ●	環境教育 フィールドワーク A・B ● ● ◆ 環境とまちづくり ● ● ● 国際関係と環境法
	理科教職課程科目(教職課程登録者以外も履修可能)				
	物理の基礎 I ■ 化学の基礎 I ■	地学の基礎 ■	生物の基礎 ■ 物理の基礎 II ■ 化学の基礎 II ■	物理基礎実験 ■ 化学基礎実験 ■	生物基礎実験 ■ 地学基礎実験 ■
留学認定科目					
		異文化理解 I・II			
学部共通科目	コンピュータの基礎 情報処理実習 A・B 基礎社会学	基礎統計学 ソフトウェア概論 経営と社会 AI入門	社会情報概論 情報社会論 コミュニケーション論	建築・不動産と社会	
	情報基礎数学		情報倫理 情報セキュリティ論 情報と法律	情報と職業	

各科目の配当年次や必修科目などの区分は変更になることがあります。

科目の詳細検索(シラバス)はこちら >>



おもな専門教育科目の紹介

環境と共生する
持続可能な暮らしを考える

環境学入門

担当教員: 細谷夏実 履修年次: 1年

この授業では、環境を学ぶ第一歩として、現代の身近な生活から地球に至る環境問題について、自然のメカニズムを学びながら環境問題発生の原因を探ります。環境と共生する持続可能な社会や暮らしづくりに必要な基礎知識と考え方を身につけることを目的としています。

学びたいことがイメージできる
環境入門講座

環境情報学基礎演習

担当教員: オムニバス形式で複数の先生が担当 履修年次: 1年

まず、私たち人間の活動に関連する自然環境の基本的な知識を学びます。さらに、持続可能な暮らしや社会を実現する、住居やまちづくり、社会や経済のしくみ、食や農業、生命、宇宙、エネルギーなど様々な角度から総合的に学び、情報処理の技術なども習得します。

環境情報学専攻

2024年度 / おもな専門教育科目の紹介

インテリアや住宅の図面が
楽に楽しく書ける

環境情報処理論及び実習 I

担当教員：大橋寿美子 履修年次：3年

この授業では、身近な空間である住宅の図面の表現手法を習得します。CADを用いてインテリアや住宅の平面図を表現し、プレゼンテーションツールとして活用できる力を身に付けるのが目標です。CADは感動するくらい楽に書けるので、楽しい授業になると思います。

オリジナルの住宅設計に
チャレンジできる

住居デザイン演習 I

担当教員：大橋寿美子、粕谷奈緒子 履修年次：2年

前期の「設計製図の基礎」で身につけたスキルを、住宅設計を通して高めるのが目標。前半は、室内図面や家具図の作成、展開図や家具図、パースの描き方を習得。後半は、学んだ表現技術を元に木造平屋の戸建住宅の設計を行います。自身の成長と達成感を味わえます。

環境保全と経済発展の
両立と重要性を考える

環境と経済 I・II

担当教員：黒沼吉弘 履修年次：「環境と経済I」2・3年、「環境と経済II」3・4年

みなさんはモノを買う時、何を基準に決めているでしょう。本授業では、社会のいろいろな立場（例えば：行政、企業、消費者など）から見て、どんな基準でエコ社会をつくれればいいのか選択肢を考えます。環境保全と経済発展の両立の難しさと重要性を学び理解を深めます。

国際的な環境問題について
法的に理解を深める

国際関係と環境法

担当教員：木村ひとみ 履修年次：3・4年

世界のさまざまな環境問題に対応するために、どのような条約があるのか、日本はどのような協力をしているかについて、多国間の環境問題を規律する国際環境法を中心に学べる授業です。また、海洋汚染や気候変動などの国際的な環境問題についても学びます。

野外調査を通して
植物や生物を観察

フィールドワーク A・B

担当教員：木下 勇 履修年次：3年

この実習では、キャンパス近くの都心の公園や緑地を訪れ、生物の種類や生活の様子を観察します。まず観察の基本として、基礎訓練のスケッチの方法を学び、植生、生物相、生物間の関係などの野外調査等から、自然環境の評価と現状把握ができる力を養います。

地球の始まりから現在を知り、
未来を創造する

地球環境論

担当教員：下井倉ともみ 履修年次：2年

私たちの住む地球はどのように誕生したのでしょうか。宇宙の誕生から地球誕生の歴史、さらに地球環境の変遷に伴う生物・人類の進化などについて学び、地球や地球環境問題の根本を理解した上で、地球環境の多様性・法則性・相互関連性について理解を深めていきます。

健康な生活を送るための
環境を考える

健康と環境

担当教員：鈴木優志 履修年次：3年

健康な生活は、健全な環境により成り立ちます。本授業ではその観点に基づき、現代の環境問題を捉えます。環境問題とは、地球温暖化や公害のような、どこか遠いところで起きている問題だけでなく、私たちの身近な生活の中にも存在する問題だということを学びます。